

2021年7月13日

積水化成品工業株式会社（本社：大阪市北区西天満2-4-4 社長：柏原正人）は、環境保全への取り組みの一環として、カーボンニュートラルの実現に向けて、当社グループに太陽光発電システムを随時導入していきます。

## グループ全体で 太陽光発電システムの随時導入を決定

### 1. 背景

近年、SDGsやESGに象徴されるように、世界規模での環境問題や社会問題に大きな関心が寄せられる中、当社グループでは、持続可能な社会の実現に向けて「SKG-5R STATEMENT」を策定し、2030年のあるべき姿に向けた定量目標や取り組みを掲げています。

特に、事業活動におけるCO<sub>2</sub>排出量（Scope1+2）については、SBTイニシアティブ<sup>※</sup>の基準を参考に、2030年度の数値を2018年度比で27%削減するという目標を設定しており、これまで太陽光などの再生可能エネルギーの導入について検討を進めてきました。

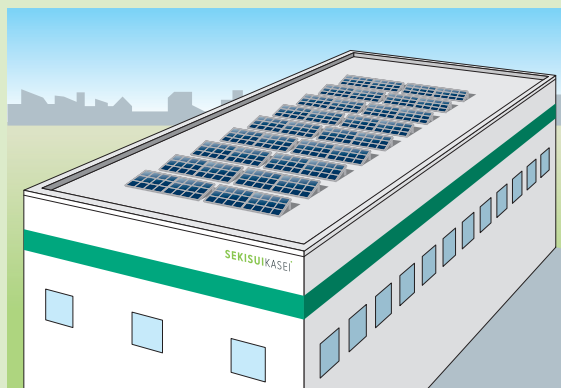
### 2. 特長

この度、再生可能エネルギーの導入に関してグループでの方針を定め、まずは、株式会社積水化成品天理（奈良県天理市森本町670番地）の製品倉庫屋上に、太陽光発電システムを採用することを決定しました。同敷地内で使用する電力の一部を本システムで補うことができ、CO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組むことで、地球環境と共生するサステナブルな企業活動体制を構築します。

今後、当社グループでは、この取り組みを例として、全国の各事業所で再生可能エネルギーの活用投資を積極的に推進していきます。



駐車場屋根パネル設置例



工場屋上パネル設置イメージ

### 3. 今後の展開

積水化成品グループは、環境と共生するモノづくりを原点とし、「環境リーディングカンパニー」を目指し、サステナブルな事業活動に注力しています。今回のクリーンエネルギー導入は、その取り組みの一例です。

今後も、当社グループ会社への展開を順次進めるとともに、環境負荷低減に向けてCO<sub>2</sub>排出量の削減を推進し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

※Science Based Targets：科学的根拠に基づいた目標設定。

以上